

(様式1)

自 己 評 価 表

(愛媛県立小松高等学校)
学校番号(11)

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）	カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
習得した知識・技能を発展させたり、他者と協働し新たな価値を創造したりして、地域の未来に貢献できる人材の育成を目指し、卒業するまでに次のような力を身に付けます。 ○自ら考え、行動できる力 ○他者を尊厳ある存在として尊重しあい、協働できる力 ○課題の発見とその解決のための筋道を思考・判断できる力 ○「積微力行」の精神で、粘り強く努力できる力 〈普通科〉 ○豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる力 〈家庭科〉 ○地域の生活産業や少子・高齢社会の福祉ニーズを支えることができる力	○ＩＣＴの効果的な活用や習熟度別講座・少人数指導により、基礎・基本を重視した分かる授業を展開します。 ○授業において、主体的に考える場面や他者と協働して課題解決を図る場面を設定し、思考力・判断力・表現力を育成します。 ○生徒主体の学校行事や部活動、生徒会・委員会活動、ボランティア活動を充実させ、豊かな人間性を育みます。 〈普通科〉 ○進路希望にあったコース(文理探究・キャリア探究)を選択して、興味・関心の高い分野の科目をじっくり学び、進路実現に向けた実践力を身に付けます。 ○個に応じたキャリア教育を充実させ、進路実現を図ります。 〈家庭科〉 ○2学年以降では、進路希望にあったコース(ライフデザインコース・ヒューマンサービスコース)を選択し、実践的・体験的な学習を通して専門的な知識や技術を確実に身に付けます。 ○家庭科技術検定、介護職員初任者研修、地域との連携・交流を通じた実践的な学習活動の充実を図り、専門性を高めます。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
グラデュエーション	グラデュエーション・ポリシーの達成	グラデュエーション・ポリシーに沿って生徒が成長していると感じる教職員の割合7割以上			
学習指導	学力の育成と主体性の向上	習熟度別・少人数講座や個別指導、デジタル学習支援ツールの活用等を通して基礎・基本の確実な定着を図る。課題解決型学習や探究活動を通して思考力・判断力・表現力を育成するとともに、自ら学びに向かう態度を養い、主体的に行動できる生徒の育成を目指す。授業内での発表や探究活動の成果の発表機会を通して、主体的に学びに取り組む態度の向上を図る。肯定率90%以上を目指す。 A:90%以上、B:80%以上、C:70%以上 D:60%以上、E:60%未満			
	教科指導の充実	教科内及び教科間の情報交換や学習評価に関する研究を継続・発展させ、探究的活動の実施やＩＣＴ活用などにより主体的・対話的で深い学びとなるよう授業の満足度や学習意欲を高め、授業の改善を進める。全員がＩＣＴの活用を研究、実践し、特に生成ＡＩの活用スキルを身に付け、授業内外での有効活用に努める。肯定率80%以上を目指す。 A:80%以上、B:70%以上、C:60%以上 D:50%以上、E:50%未満			
		校内研究授業や相互参観授業で、年間4回以上授業を参観して、教科会や学年会などの研修も踏まえて授業力向上に努める。 A:4回以上、B:3回、C:2回 D:1回、E:0回			
生徒指導	温かい人間関係の育成	生徒一人当たり年間4回以上の面接指導及び定期的な手紙相談を通して、生徒理解に努めるとともに、生徒の悩みや相談に寄り添い学校生活への適応を手助けする。 A:4回以上、B:3回、C:2回 D:1回、E:0回			

生徒指導	豊かな心の育成	自ら取り組む清掃活動を通して、校内の美化はもとより、 <u>クリーン愛媛運動などの校外美化活動にも主体的に参画し、社会に貢献しようとする奉仕の精神を育成する。肯定率70%以上を目指す。</u> A:70%以上、B:60%以上、C:50%以上 D:40%以上、E:40%未満			
	挨拶の励行と適切な言葉遣い	学校内だけの挨拶ではなく、登下校時にも地域の方々に自主的に明るく正しい挨拶を心がけ、つながりや信頼を深めていく。「語の日」だけでなく、日々の学校生活において、 <u>正しい礼儀作法、身だしなみ、言葉遣いを学ばせる。肯定率90%以上を目指す。</u> A:90%以上、B:80%以上、C:70%以上 D:60%以上、E:60%未満			
進路指導	進路指導の充実	学年団と連携し、コース等の特長を活かした進路指導を行い、多様な入試（小論文、集団討論、プレゼンテーション等）や就職試験に対応した力を育成し、 <u>進路満足度100%を目指す。</u> A:100%、B:90%以上、C:80%以上 D:70%以上、E:70%未満			
	キャリア教育の充実	小論文指導やインターンシップを通じて実践的な力を身に付けさせ、課題研究等を通して探究したい分野の理解を深めさせる指導を行い、 <u>肯定率80%以上を目指す。</u> A:80%以上、B:70%以上、C:60%以上 D:50%以上、E:50%未満			
特別活動	部活動の充実	部活動への参加を推進し、 <u>加入率80%以上を目指す。</u> A:80%以上、B:75%以上、C:70%以上 D:65%以上、E:65%未満 部活動の満足度・充実度の肯定率80%以上を目指す。 A:80%以上、B:70%以上、C:60%以上 D:50%以上、E:50%未満			
	生徒主体の活動の推進	生徒の自主的な計画・運営による生徒会活動、委員会活動、家庭クラブ活動を支援し、生徒が主体的に活動できる環境を整え、お互いのよさを尊重し生かし合って協働する力を養う。 <u>肯定率80%以上を目指す。</u> A:80%以上、B:70%以上、C:60%以上 D:50%以上、E:50%未満			
人権・同和教育	人権・同和問題学習の積極的推進	人権・同和教育ホームルーム活動を充実させるとともに、人権課題に対する生徒・保護者への啓発に努める。現地研修会や市民の集いなどの対外的な活動へ積極的に参加し、生徒が主体的に人権問題を解消する実践力を身に付けさせる。 <u>肯定率80%以上を目指す。</u> A:80%以上、B:70%以上、C:60%以上 D:50%以上、E:50%未満			
地域広報・地域協働	地域や他者との協働	地域や他者との協働や、体験して考える探究活動の実践に努め、地域を誇りに思い、地域に貢献できる人材育成に努める。 <u>肯定率80%以上を目指す。</u> A:80%以上、B:70%以上、C:60%以上 D:50%以上、E:50%未満			
業務改善	職場環境の整備	同僚や管理職との信頼を構築し、働きがいと教師としての質の向上を実感できる職場づくりに努める。 <u>肯定率80%以上を目指す。</u> A:80%以上、B:70%以上、C:60%以上 D:50%以上、E:50%未満			

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった　B：かなりの成果があった　C：一応の成果があった　D：あまり成果がなかった　E：成果がなかった）とする。